

「Orizuru」

高学年は、「Orizuru」に取り組みました。歌詞の意味を読み込むことから始め、二つの部分の歌い方を考えました。最初の斉唱の部分の歌い方と最後「Ah」の強弱の工夫です。歌詞の意味や旋律の動き、音楽的な効果など、子どもたちは様々なとらえ方をしており、驚きました。思いを表現するためには強弱の工夫をすればよい、と気づいたことは、大きな成果でした。最後の部分の「Ah」では、子どもたちからたくさんの強弱の工夫が提案されました。どの強弱の工夫もしっかりと思いがあり、一つに決めるのは難しいことでしたが、旋律の流れ、最後の場面であることなどから、フォルティシモに決めました。

【クラスの読み取りから】

境界線

- ・悲しみと喜びがある場所(平和公園・ドーム)
- ・人がたくさん亡くなった悲しみと平和であるよろこび
- ・複雑な気持ちの中で
- ・悲しみ(戦争)よろこび(終わった)⇒悲しみの中でのよろこび

たからもの

- ・希望 ・平和 ・たくさんの大切な言葉 ・やさしさ ・幸せ
- ・友情 ・愛情
- ・いつも通りの日(いやな思い出と、いい思い出の中でみつけた)

おくりもの

- ・人々の平和への願い ・美しい心 ・平和な世界 ・希望や勇気
- ・やさしさ ・折り鶴 ・絆 ・協力 ・笑顔

ゆるしあえるゆうき

- ・認め合える
- ・仲直りできる
- ・自分のことを認め、相手のことも認める
- ・勇気をだすと許し合える
- ・違いがあっても理解し合えること
- ・国同士をつなげる勇気
- ・和解する勇気

- ・他国の行動をゆるし仲良くする勇気
- ・みんなの心をつなげることが出来る勇気
- ・にくまず、ゆるそうという勇気
- ・にくしみの心をおさえて、人を思いやる気持ち
- ・お互いの今までのことを忘れて、ゆるしあって協力する
- ・お互い高め合って、みんなで乗り越える勇気
- ・人がおかしたあやまちも違う見方で解決する勇気
- ・自分の意見をまげて、相手の意見を尊重できる勇気
- ・けんかをしてもやりかえさない勇気
- ・世界のみにくい争いなどをせず国と国が仲良くする
- ・「いいよ」「だいじょうぶ」と言える勇気

しんじあえるつよさ

- ・認め合えるやさしさ
- ・たがいに仲間を思いやる
- ・仲間とともに協力できること
- ・わかり合える強さ
- ・信用できる強さ
- ・信頼関係の強さ
- ・お互いを信じ合う強さを高めていこう
- ・お互いを認めあう絆の強さ
- ・信じ合って仲間と助けあえる強さ
- ・協力し合える強さ
- ・団結できる強さ
- ・友情の強さ
- ・これから仲良くしていけるよう、うたがわず信じ合える
- ・相手と自分を信じて笑顔になれる強さ
- ・信じることができると戦争が始まらない
- ・信じ合い約束をやぶらない強さ
- ・信じ合ってうそをつかない強さ
- ・仲間どうしでうたがいをもたない
- ・他国の人とも信じ合える
- ・他国と仲良くなれる強さ
- ・信頼できるほこらしさやなんでもできるという強さ
- ・平和を信じ合える強さ

「へいわのたね」

中学年は、「へいわのたね」に取り組みました。歌詞の意味を読み込むことから始め、子どもたちにとって難しい言葉は、意味を確かめながら学習を進めました。歌詞を読み込むにつれ、子どもたちは次第に気持ちを込めて歌うことの大切さを感じるようになりました。音楽が大きく変化する部分では「決意が感じられる歌詞なので強めに歌いたい」など、子どもたちの思いが歌声に表れてくるようになりました。

まとめとして、思いを絵に表しました。3年生は、自分が考える「平和の花」を、4年生は、みんなで手をつないでいる「笑顔の自分」を描きました。平和への思いを絵に表すことで、「平和」への強い思いを持つことが出来ました。

【クラスの読み取りから】

やさしさをみんなをつなげるんだ あたらしいじだいのこどもたち

- ・やさしさをみんなを元気にする
- ・やさしさをみんなをつなげると、平和になる
- ・やさしさでいつまでも笑顔にする
- ・やさしさをなくしていこう(いじめ・にくしみ)
- ・やさしさがあれば一つになれる
- ・やさしさが平和のもとだから、子どもたちが笑って過ごせるように、みんなやさしい心を持つ
- ・みんなのやさしさを未来のとびらをひらこう！
- ・みんなの心がつながって楽しくなって平和になる
- ・にくしみを消してやさしさを包む
- ・悲しみのない楽しい感じで、みんなをつなげていく
- ・やさしい心をみんなで少しずつ、つなげていく
- ・仲が悪い人たちでも仲良くしあって、それが広がる
- ・笑顔でニコニコ笑う
- ・世界中をやさしさでいっぱいにする
- ・やさしさいっぱいの町にして平和にいらしてほしい
- ・世界中の人がやさしくなれば、どんなに遠くてもつながる

「Beautiful Peace」

低学年は、「Beautiful Peace」に取り組みました。歌詞にあるように、「ありがとう」といわれたら、どんな気持ちになるかを考えました。歌詞の読み取りが生きてきたのでしょうか、だんだんとやさしい声で歌うことができるようになってきました。そして、体をいっぱい使って思いを伝えるよう、簡単な振りをつけて踊りながら歌うことにしました。まとめとして「ありがとうの時の、笑顔の顔」を絵に描きました。

【クラスの読み取りから】

どんなときに「ありがとう」っていうかな？

- ・なにかもらったとき
- ・おしえてもらったとき
- ・いいことをいってもらったとき
- ・おとしものをひろってもらったとき
- ・てつだってもらったとき
- ・いっしょにものをさがしてもらったとき
- ・けがのてあてをしてもらったとき
- ・だれかにしんぱいしてもらったとき
- ・たすけてもらったとき
- ・やさしくしてもらったとき
- ・つくってもらったとき
- ・ひろってもらったとき
- ・おうえんしてもらったとき
- ・ほめてもらったとき
- ・おれいをするとき
- ・いっしょにあそんでもらったとき
- ・うれしいとき
- ・おめでとうっていってもらったとき

「ありがとう」っていわれたら、どんなきもちになるかな？

- ・ふわふわ
- ・めちやくちやうれしい
- ・しあわせ
- ・きらきら
- ・たのしい
- ・こころがみたされる
- ・いいきもち
- ・やさしさをかえしたい
- ・こころがあたたかくなる
- ・「ありがとう」をかえしたいきもち
- ・うれしい
- ・ともだちになりたい
- ・心が明るくなる
- ・おれいをいいたくなる
- ・心があたたかくなる
- ・心がスッキリ
- ・心がおちつく
- ・いやなことをわすれる
- ・心がふわっとする
- ・ありがとうの気持ちがふかくなる
- ・心がホッとする
- ・心がほわ～んとする
- ・いやされる
- ・ちがう人にも言いたくなる
- ・心がきれいになる
- ・いいことしたいな
- ・ありがとうっていいな
- ・ニコニコな気持ち
- ・すてきな気持ち
- ・やってよかった
- ・気持ちがよくなる
- ・ほめてもらった気持ち